

DVDで発達障害学ぶ

愛知教育大教育臨床総合センター(刈谷市)は、発達障害の可能性がある児童・生徒について学ぶ教員向け教材「先生のための発達障害」を作製した。小冊子(28頁)に加えて、俳優が演じる児童と教諭のやり取りを再現したドラマ仕立てのDVDもあり、県内の教育機関に配布している。

【亀井和真】

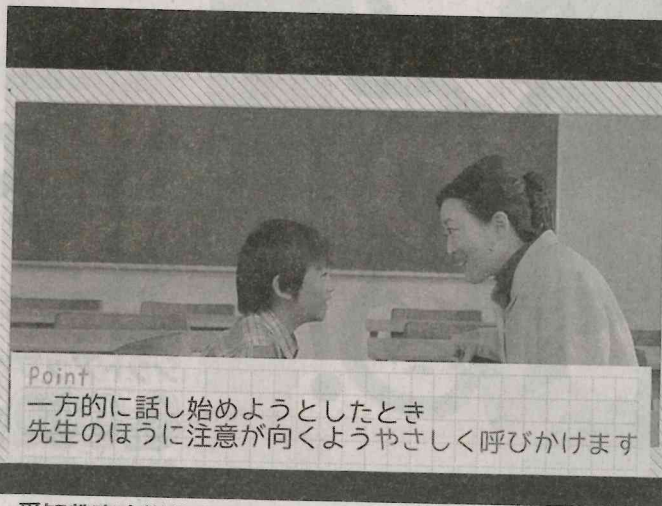
愛知教育大教育臨床総合センター

文部科学省からの受託事業で、発達障害の可能性がある児童生徒に対する早期・継続支援事業の一環として作製した。発達障害の一種で、対人コミュニケーションが苦手とされる「自閉スペクトラム症」の「積極奇異型」「受け身型」「孤立型」の3タイプについて、それぞれの特性や対応法を解説する。

教材は同センターが企画・原案・監修を担当し、た。このうちDVDには、舞台俳優でつくる名古屋市の劇団「インクルーシブシアター」などが協力し、約29分の映像にまとめた。

文科省によると、発達障害の可能性のある児童・生徒は「通常の学級に6・5%程度在籍する可能性がある」という。同センターは「小冊子、映像ともに分かりやすくまとめることができた。部活の指導などで多忙化する教職員に、発達障害の理解のために役立ててほしい」と話している。

教員向け ドラマ仕立てで解説も



Point

一方的に話し始めようとしたとき
先生のほうに注意が向くようやさしく呼びかけます

愛知教育大学教育臨床総合センターが作製したDVDの
一場面一同大提供

る教職員に、発達障害の理解のために役立ててほしい」と話している。

同大は、小冊子・DVDをセットにした教材1000セットを県内の各教育委員会や教育事務